

大津町議会 経済建設常任委員会行政調査

氏名 西川 秀貢

視察研修名：大津町議会経済建設常任委員会行政調査

視 察 先：宮城県名取市、宮城県大和町

期 日：令和6年8月7日（水）～8日（木）

研修テーマ：名取市「なとり臨空タウン構想について」

大和町「半導体企業誘致におけるインフラ整備」

研修報告 意見・感想

令和6年8月7日の名取市の視察では、仙台空港とアクセス鉄道を活用し、仙台都市圏南部の開発、整備を行い発展させたということで、これからの大津町の課題である阿蘇くまもと空港からJR肥後大津駅までの開発関係に非常に合致しているところを感じた。

アクセス鉄道の開発に伴い、周辺のまちづくりを進めたことにより人口の増加にも繋がっている。東日本大震災後ということで当時被災された人たちもこの周辺に移り住まれたようだが、現在に至ってもかなり発展しているように感じる。

本町においても、空港と肥後大津駅を繋いでいく上で、周辺のまちづくりや道路の整備等、先を見据え同時に進めるべきだと考える。

次に、8月8日の大和町においては、工業団地を整備することによりかなりの企業誘致に成功し、その企業誘致により雇用の確保、拡大、税収の増加、経済の活性化等、様々な町の努力を感じた。

本町に視察に来られたということで、非常になじみやすく、受け入れ体制においても本当に素晴らしかった。半導体関係の企業も多いことから、まだまだ伸びて行く町だと思う。

2日間の視察において、いずれも町の努力が必要であり、県都の連携が必要であると考えます。また、この研修を通じ、他団体、または関係機関などとの意見交換や、情報を交換していくことで、アイデアも生まれることから、非常にいい研修であったと思う。